

近畿大学病院外科で肺がんに対する治療を受けられた患者様・ご家族の皆様へ

近畿大学病院リハビリテーション科（以下、当科）では、「COPD 合併肺がん患者における術前運動耐容能と術後呼吸器関連合併症との関連」という臨床研究を行っています。そのため、近畿大学病院外科で肺がんに対する治療を受けられた患者様の診療情報を使用させていただきますので、以下の内容を確認してください。

なお、この研究は、近畿大学医学部倫理委員会（<https://www.med.kindai.ac.jp/rinri/index.html>）で審査・承認を受け、医学部長による実施の許可を受けて行われます。

① 情報の利用目的及び利用方法

この研究では、慢性閉塞性肺疾患（COPD）を合併した肺がん患者に対する術前の運動耐容能（全身持久力）と術後肺炎などの呼吸器関連合併症との関連性について調べることを主な目的としています。そのため、当科で肺がんに対する治療を受けられた患者様のうち、1.肺がん切除術を実施し根治切除が可能であった 40 歳以上の肺がん患者。2.肺がん術前の時点で歩行が自立している患者。3.肺がんと診断された患者のうち COPD の併存があり、術前に心肺運動負荷試験を実施した患者を対象基準とし、1.二期分割手術を実施した患者、2.術中判断で再手術となった患者、3. 研究責任者が研究への参加が不適切であると判断した患者を除外基準とし、これらの基準を満たした方を対象として、診療情報のみを研究に利用します。利用する情報は、患者様個人が特定されないように匿名化を行い、個人情報に関しては厳重に管理します。なお、それらの情報を他の機関へ提供することはありません。また、収集したデータを、別の研究で用いる場合は再度倫理審査委員会へ承認を得たうえで使用させていただきます。

② 利用する情報の項目

- カルテ情報（年齢、性別、身長、体重、MBI、既往歴、腫瘍の部位、入院日、術式、手術時間、出血量、切開の大きさ、腫瘍径、術後肺炎・無気肺の有無、術後合併症の Grade(Clavien-Dindo grade)、退院日、術前呼吸機能検査、レントゲン所見、CT 所見）
- その他の検査結果（心肺運動負荷試験）

③ 利用する者の範囲

本研究に参加する当院の医師等

東本 有司	リハビリテーション科	臨床教授
野口 雅矢	リハビリテーション部	理学療法士
白石 匡	リハビリテーション部	技術主任
津谷 康大	外科	主任教授
武本 智樹	外科	講師

④ 情報の管理について責任を有するもの名称

近畿大学医学部

⑤ 研究対象者の求めに応じて、研究対象者の情報の利用を停止すること

この研究では、患者様・ご家族様の診療情報が利用されることに同意できず、拒否されたい場合に、下記の方法により、いつでもその利用を停止することが可能です。また、利用の停止を受け付けた場合でも、その後の診療において一切の不利益を受けることはありません。

⑥ 上記⑤の求めを受け付ける方法

下記までご連絡ください。なお、この研究に関するすべてのお問い合わせも下記で受け付けます。

[お問い合わせ先]

近畿大学病院（リハビリテーション部） （野口 雅矢）

電話：072-366-0221 内線：6768

以上